

# 南高 同窓会会報

発行所  
四日市市大字日永岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同窓会  
TEL.0593-45-3177  
www.4nan.jp/~dousou/



## ご挨拶

会長 柏谷 邦男

夕食も済ませたある夜、一本の長電話。何度もお断りした突飛な同窓会長依頼の話。結果的に引き受けてしまおうと云うこの優柔不断な小生に本当に務まるのか、誠に心細いスタートになってしまった。38年間愛知県で高校の美術教師を勤め上げ、この春無事定年退職。やっとエネルギーを自分だけの為に「絵」に没頭出来るかと油断があったのか。

南高卒業後は学校の事、四日市の事、あまり関係なく過ごして来た。意識した事もなく気にもしなかった。事もあろうに一本の電話がそれを覆すとは。「絵描き」とは頑固で我がまま、世間知らずで融通がきかない四拍子と来ている。そんな私を試そうと云うのか。この40数年の空白をどう埋めるのか。と思つた時、そんなことは実に下らな

い、自分の一生の延長線のこと。一切考える事をやめた。幸いに優秀なスタッフに囲まれ、アドバイザーでいいと軽い気持ちでいる。

さて、我が母校でも平成20年に創立50周年を迎える。半世紀に及ぶ長い歴史と重い伝統、輝かしい実績。内外で活躍する同士の姿を見聞きするに誇りを感じうれしく思います。南高に係わつたすべての人達の努力の結晶がこの立派な学園に成長させていたのだと感謝する次第です。

伊勢湾台風の年に富洲原中学の仮校舎での開校。我々2期生は富洲原小学校の仮校舎で一学期間。その夏、登城ヶ丘へ移転し、待ちに待った我が学舎であった。皆で机を運び、椅子を運び汗を流し、グラウンドの石ころを拾った。赤土の広場にボツ

ンと白い校舎が一つ。プールも体育館もなかった。当時の校長風間校長は「パイオニア」精神を我々に熱く植え付けた。貧しくとも先生も生徒も目が輝いていた。ちっぽけな南日永の駅から校までは田んぼのみで、何も遮るものはなかった。北風に向かつて背を丸め、夕立に追つかげられ初夏には稲の香りがした。ほろ苦い青春の一ページであった。

## 完成した新武道館



私はこの4月にいなべ総合学園から来ました。歴史と伝統のある学校へ来させていただいたことを嬉しく思うと同時に、その責任の重さを感じております。世間では学力をめぐって議論が盛んですが、小難しい理屈など要らないのではないかと考えています。昔から「知・徳・体」と言うように、この3つのバランスを考えながら学校と保護者が力を合わせて子どもを育てていくことが最も大事であると考えています。微力ですが、南高の発展のために頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

昨年度の大きな取り組みとして「授業公開」「生徒による授業評価」に着手しました。また、各教科のシラバスを作成し、生徒に配布しました。今年度はより良い授業作りに向けて、更に研



## ご挨拶

学校長 中村 秀文

会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は南高発展のためにご理解とご支援をいただき誠に有り難うございます。さて、母校は登城ヶ丘の新緑に彩られ、また、グラウンドや体育館から新入部員達の元気な掛け声が響く、素晴らしい季節を迎えております。5月の末には県総体をひかえ、また、6月の初めには体育祭が待っています。

私はこの4月にいなべ総合学園から来ました。歴史と伝統のある学校へ来させていただいたことを嬉しく思うと同時に、その責任の重さを感じております。世間では学力をめぐって議論が盛んですが、小難しい理屈など要らないのではないかと考えています。昔から「知・徳・体」と言うように、この3つのバランスを考えながら学校と保護者が力を合わせて子どもを育てていくことが最も大事であると考えています。微力ですが、南高の発展のために頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

また、昨年度の進路状況は国公立合格者100名、私立文系266名、私立理系303名、いずれも延べ人員、短大及び専門学校54名、公務員1名、浪人等19名という結果でした。大学入試でも生徒達は後期日程の最後まで頑張りぬき、立派な成果をあげてくれました。いずれにしても、部活動と学習の両立を推奨し、「知・徳・体」のバランスのとれた人材の育成に努めてまいりたいと考えています。今後とも、同窓生のみならず皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(平成17年5月)

# OB講演会

平成17年7月8日

2年在校生を対象に様々な職業の8名の同窓生による講演会が行われました。

## FMよっかい社長

### 山路 熟 氏(14期生)

インターネットの出現と同じ頃、世界中でIT関連会社を立ち上げる若者がたくさん出現しました。そういった挑戦起業を「ベンチャービジネス」と呼び、そして彼らは「アントロプレナー」として紹介されてきました。

四日市南高校卒業のアントロプレナーとして四日市で活躍されている山路氏の講演は、会社設立から今日まで、どのように会社をつくりあげてきたのか、どんな苦労があったのかなど過去の様々な経験にも触れ、とても夢のあるわかりやすい内容となりました。

### 中村循環器科医院医師

### 中村 泰 氏(18期生)

1.「医学ははたして人に貢献しているのか？」  
2.「生命の価値はみな同じの問いかけをし、この二点は医療従事者にとつての根本的な悩みである」と前置きされた上で、その答えはNOであるとの理由を検証されました。

その後、職業としての医療の問題点と魅力とをそれぞれ具体例を挙げて解説され、結びとし

## て医療系への進路を希望する生徒達に期待することとして、学習面、精神面の両点からメッセージを下された。素直な語り口で、医師としての喜び、悩み、苦しみを語って下さり、感動的

とさえ言える講演でした。

### 弁護士

### 三林 昭典 氏(18期生)

弁護士として名古屋を中心に活躍中の三林昭典さんのお話を生徒と共にうかがった。

「法科大学院」設置による司法試験、弁護士の量、質への影響、近々導入される「裁判員制度」、「弁護士」自由化等々、司法をめぐって様々の変化が持ち受けている現状を三林さん自身の司法を目指したきっかけや法律事務所の日常とからめて話していただいた。

### 河合塾メディア教育総括

### 吉田 広三 氏(19期生)

「河合塾サテライト講座」のできあがる過程を、メディアアルームで、情報機器を駆使しながら、とてもわかりやすく解説していただきました。

単なる講師の講義の撮影にとどまらず、図表や画像と人物とを組み合わせて、良く理解でき

## 「くじら」編集室社長

### 市川 さつき 氏(21期生)

くじら編集室の会社設立までの話から、仕事とは… 働くとは… 生徒たちを交えてセッショントークで意見交換しました。叶えたい目標のために地道に努力を重ねてきた経歴や、夢が高ければ高いほどやる気を発揮することができると。どうせ仕事をするなら目標を持って有意義に過ごしたいと熱く語っていただきました。

生徒から出た次のような質問にも、丁寧に回答いただきました。  
・「くじら」の名前の由来について。  
・特集についてはランチ(食事)が多いのはなぜか。  
・特集で紹介したメニューは試食するのか。

### 三井不動産勤務

### 吉原 誠 氏(21期生)

三井不動産という企業はどのような仕事をしているところか、身近にあるラスタクウェアや長島のジャズドリムを例に話されました。次いで、企業組織がいかなるもので、それをどうまとめ、どう動かしていくのか、ご自身が高校生時代に入部されていたサッカークラブの活動から説明されました。

また、マーケティングについて物をどうやって売るのが、どうすれば売れるのか、生徒との色々な質問のやりとりを通して言及されました。

## 四日市市議 議会運営委員長

### 水谷 正美 氏(23期生)

南高時代の体育祭の思い出から始まり、大学時代、サラリーマン時代を経て、政治家になるまでの軌跡を語って頂きました。特に、大学の雄弁部での活動や、「日本一周ひとり旅」、その後の海外での様々な人々との出会いを通して、物の見方が大きく変わったこと、高校生諸君にも多面的、俯瞰的な物の見方をしたいことなどを話されました。

後半は、質疑応答の時間となり、四日市市との合併で楠町にメリットはあるのかという質問や、四日市市の抱える借金、東海地震対策、議員の年収など多くの質問に答えて頂きました。

### ジャズピアニスト

### 榎田 友紀 氏(31期生)

南高の思い出、東京の音大での悩み、米留学への両親のバックアップや現在の仕事の様子を取り入れ、話はわかりやすく好評でした。

誰でもできるといふような仕事ではなく、大変だが楽しく仕事をしていることが大いに生徒に伝わっていた。OBとの交流会のような雰囲気と生演奏で、生徒たちは非常に感動し楽しんでいました。



山路 熟 氏



中村 泰 氏



三林昭典 氏



吉田広三 氏



市川さつき 氏



吉原 誠 氏



水谷正美 氏



榎田友紀 氏

# 教育実習

今年も教育実習が行われました。第40〜42期生の方々に感想をお聞きしました。

## 山田亮太

41期生

2週間という期間は、想像していた以上に短く、正に「あっという間」という感じでした。授業の方は、予想以上に苦戦しました。計画通りに進む事がなく、毎回毎回、悪戦苦闘の連続でした。

そんな中、南高校の先生方が行っている授業を拝見させて頂き、驚愕しました。どの先生の授業も、綿密に計画されていました。私のものとは雲泥の差で、その事は教科を問わず、生徒の反応の差で表れていたと思います。そのことがより一層、授業計画作成の励みとなりました。体育祭を挟んだ2週間。数多くの貴重な体験をさせて頂き、誠に有難うございました。最後に、指導教官の宮崎先生をはじめ、貴重なご指導下さった先生方、本当に有難うございました。

## 前川明久

42期生

私は3年生の日本史を担当させて頂きました。受験生を

### これから教育実習を申し込まれる予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平

教えるということ、これは責任重大だ、完璧な授業ができるように勉強しないと意気込んでいたのですが、私が実習初日に感じたことは「完璧」という言葉ほど初心者にはふさわしくない言葉は無い」ということでした。成功よりも失敗が多く、満足のいく授業がなかなかできなかったのです。授業の内容はもちろん、板書の工夫、授業進行のスピードなど様々なことに注意を払わねばならず、完璧にするどころか大きな過ちを犯さないようにするので精一杯でした。

経験の浅い私には完璧な授業は無理かも知れない。それでも完璧を目指す心だけは捨てずがんばろう。それが実習生の勤めだと思い、努力しました。

## 田畑雅基

40期生

教育実習も残す所後2日となりました。まだまだ教師という職業について何も分からないですが、この約2週間の実習生活を振り返って少し書かせてもらいます。

今、大学で生徒として生活し

ている私にとって、自分が2週間だが教師として教壇に立つという事に不安や期待というプレッシャーを感じていましたが、学校の先生方、同じ教育実習生学校の生徒たちによってすべて解消されました。自分が生徒では感じられない学校というものをこの2週間で少しは感じとれたと思います。

私のこれからの人生の中でもこの教育実習で学習したことを活かし、初心を忘れることなく良い教師になれるよう日々精進していきたくと思います。

## 中瀬古真嗣

41期生

私は平成14年の卒業で、今年教育実習をさせて頂けるということで、約3年ぶりに母校を訪れることになりました。学校の坂道はとても懐かし、高校時代がよみがえってきました。

大変お世話になった清水峯夫先生、阪野優先生が指導教員となり、とてもありがたかったです。私が教員を目指したのは生徒と接することが好きなので、ずっと教えていたいという考えで、生徒と接している時のすごく嬉しそうな表情をする先生方に感動したことにあります。

私は、この恩師との出会い以降、「出会い」を大切にしたいと思うようになりました。これからも多くの人と「出会い」様なことを学びたいと考えています。2週間、本当にありがとうございました。

# 躍進する部活動

## 柔道部

2003年4月、道場に足を運ぶと生徒が3人柔道着を着ていました。お互い簡単な自己紹介をしたのが始まりでした。しかし放課後の生徒の顔ぶれは日替わりで、ただ柔道をしているだけ。そこに何を求めているのだろうか？道場は錆びた鉄筋にかび曇、屋根からの雨漏りは20カ所。いつも道場の隅には山積みバケツを待機させました。3年前に赴任したときは、そんな感じで始まった柔道部。

柔道は嘉納治五郎先生の「精力善用」「自他共栄」の精神で今日までの発展があります。柔道を通しての人間形成。礼に始まり礼に終わる、その心。生徒にはそこから伝えたいなと思いました。5月に3年生が引退すると男が3人、女が1人。まず取



り組む姿勢を求めました。強いか弱いか、そんなことは社会に出たら関係ありません。「日々努力」することの大切さと、礼節があり我慢と辛抱ができる人間であること。気分がいいとき楽な練習は誰でもやります。でも辛くなってからが本当の練習です。誰もができないことをやるから自分の存在価値が高まる言い続けました。



全国大会で大健闘の小林選手

初めのころ慣れずにいた生徒も、2年目になると、その意味を理解し始め、行動に移せるようになってきました。練習時間の少ない平日は基本の反復練習。行動を無駄なくすることで時間以上の内容をこなせます。休日には他校で総合練習。新たな課題は次の平日に反復しました休日に試す。各学期の取り組みを遠征で試す、と年間計画でレベルアップを目指します。目的を明確にすれば行動が明確になります。それは何事も同じだと思います。個々が具体的努力目標に取り組み、その成果も出始めました。初心者から始めた村山尚弘は2年で県総体個人ベスト8。県新人戦では小林未来が女子個人優勝、全国高校柔道選手権ベスト16。そして3年目の今年は村山が県総体個人3位。女子は団体が東海総体出場、個人は小林未来がインターハイ出場を決めました。個人とチームの取り組

## 囲碁将棋部

5月開催の三重県高校囲碁選手権大会で、男子団体戦は強豪鈴鹿高専を敗ったものの伊勢高に惜敗、結果準優勝でした。昨年全国大会出場を果たした女子

個人戦は、残念ながら今年は準優勝という結果に終わりました。一時の囲碁ブームも早過ぎ去った感があります。主力メンバーが3年生ばかりで後継者不足が悩みの種です。

**文芸部**

私たち文芸部は、昨年度「高校文芸みえ」に2名が入選しました。この内1名が全国大会に出場、また三重県で開催された近文祭には3名が参加し、他県の生徒と交流ができました。今年度は新入部員2名を含め、9名で活動しています。6月には文芸誌「ホロスコープ」を発行し、その後は隔月で部誌を発行していく予定でおります。

**剣道部**

今年度は、1年生4名(男1、女3)、2年生2名(女2)で、高校総体で3年生1名(男子)が引退したため、男子がわずかに1名になりました。女子も高校総体では団体戦に出場できませんでした。今年度は少数精鋭で頑張っていきたいと思っております。

**演劇部**

演劇部です。夏の三重県高等学校演劇大会では、生徒創作の『THE☆PRESES』を上演しました。北勢地区大会で優秀賞を受賞して県大会に進み、県では優良賞を受賞しました。また、春季大会では1年生を主体に、『夏芙蓉』を上演し金賞に輝きました。今年も県代表をめざして頑張ります。

**インターアクト部**

創部23年目の今年、部員数が

5名にまで減ってしまいました。が、皆元気に老人保健施設や西日野の障害者施設群などでボランティアをしています。

**電算無線部**

電算無線部の主な活動内容に、南高校公式ホームページの更新作業があります。学校での出来事などの情報をタイムリーに皆様の元へお届けしていますので、ぜひアクセスしてみてください。現在は夏に行われる全国プログラミングコンテストに向けてプログラムやコンテンツの制作をしています。電算無線部の活動にご期待下さい。

**美術部**

1年生が3名入部し、2年生3名、3年生13名の合計19名にて例年通りの活動をしています。本年11月20日に青年会議所の依頼で、四日市駅前アピタ前の公園に電飾パネルを制作予定です。他校と一緒に展示ですが1ヶ月程展示(点灯)します。通りかかった時は是非ご覧下さい。

**書道部**

少ない部員で活動しています。が、練習は非常に熱心で意欲的に作品制作に取り組んでいます。日々の練習を通して書の持つ独自の魅力を感じ、身震いするような感動を味わいながら、制作に励んでいきたいと考えています。本年度も南高祭、三重県高等学校文化祭書道部門に出品

**卓球部**

男子10名、女子4名で活動しています。練習メニューを自分達自身で作成し、そのメニューを基に日曜日以外は毎日練習しています。昨年の成績は北勢大会で男子団体が2位、個人戦では3名が県大会に出場しました。今年の成績は、春の大会で2名が県大会に出場したので、この勢いで夏の大会に好成績を狙い頑張ります。

**軽音楽同好会**

こんにちは、軽音楽同好会です。この同好会は、先輩達によって作られてから3年が過ぎましたが、今では30人近くが活動を行う大所帯になっています。先日、第一楽器わんわん支店で行われたティーンズミュージックフェスティバルで本会のバンドがオーディエンス賞を獲得しました。これからも技術を磨いて頑張っていきたいと思っております。

**野球部**

「悲願」

まもなく本校も50周年を迎えるようとしています。野球部も開校年から結成され、様々な伝統と戦績を刻んできました。その野球部の歴史に未だ刻まれぬ「甲子園出場」に向けて部員46名、日々練習に励んでいます。この夏、秋、四南旋風を巻き起こしたいと思っております。御声援よろしくお願いいたします。

**音楽部**

音楽部は今年度は10名で活動

しています。少人数ですが毎日仲良く練習しています。OBの方がよく指導に来て下さり、技術面ばかりでなく様々な面で現役生を支えて下さっています。

**バレエボール部**

伝統ある四日市南高校男子バレーボール部も、部員数の減少とともにその戦力も徐々に低下してきました。今年度の実績は、インターハイ三重県予選大会一回戦にて、上野商業高校をやぶり二回戦に進出したのが最高成績でした。アメリカンスポーツである以上、勝負にこだわらねばなりません。「負け」から多くを学んだ一年でした。

**ソフトテニス部**

3年ぶりに男女そろって団体戦出場を果たした県総体が終了し、3年生が引退した今、1年生部員だけになりました。しかし、南高ソフトテニス部出身の鈴木正司先生が新たに顧問に加わり、気力も十分に日々練習に取り組んでいます。

**家庭部**

1年生から3年生までで、70人程の人が家庭部に所属しています。活動は月に1〜2回と少ないですが、みんなで楽しくや

っています。お菓子を中心に作っていて、最近ではカトリーショコラや梅大福などを作りました。2学期には南高祭があり、暑い中大変ですが、今年も毎年恒例のうどんをみんなで協力して作りたいと思います。

**箏曲部**

私たち箏曲部は、毎週木曜日の放課後に講師の佐藤先生を招いてお琴を弾いています。主な活動は、夏の日本音楽演奏会と南高祭での舞台発表です。今は夏の日本音楽演奏会に向けて「風の色」を練習しています。良い演奏ができるように頑張りたいと思います。

**サッカー部**

インターハイの予選も一次トーナメントで敗退してしまいました。新チームのテーマは「ハートフル」という事で戦う気持ちを前面に押し出したチームを目標にしています。技術や戦術は未成熟ですが、ひたむきな向上心を忘れない集団を目指しています。

**バスケットボール部**

2005年度4月現在、部員数は男子34名、女子28名で活動しています。インターハイは、男子・女子とも地区予選で惜敗しました。大会後、新チームに移行し、夏の1年生大会、秋の選抜優勝大会に向けて練習を続けています。今後とも応援を宜しくお願いします。

**天文部**

「南高天文部の歌」  
南高校〜天文部〜♪  
星空に想いめぐらせ〜  
太陽の黒点さがし♪  
この空は宇宙へつづく♪  
限らない不思議を秘めて〜  
南高校歌のメロディーにのせて  
大声で歌って下さい。

**バドミントン部**

5月27日の県総体では、善戦及ばず男子は二回戦、女子は一回戦で敗退しました。4月下旬の四日市市民大会は後藤・森下組が3位、5月上旬の全国・東海総体県予選2部女子の部で大久保・宮津組と加藤・坂本組が3位、単では加藤が3位入賞。6月から1・2年生主体の新チームがスタートしました。今後ともよろしく願います。

**茶道部**

今年度は3年3名、2年8名、1年10名と多くの部員で活動することにになりました。週1回と回数も少なく、テストなどで抜けてしまうこともありますが、限られた時間の中で充実したクラブ活動を行っています。今年も南高祭でお茶会を開く予定なので、日頃の様子などを見ていただきたいと思います。

**水泳部**

水温20度。今年の泳ぎ初めです。長い冬の陸上トレーニングと週に一、二度の通いスイム練習と「忍」の一言で乗り切ってきました。悪条件ではありますが、泳げることを喜びに毎日の練習に取り組んでおります。

一種目でも多く東海大会出場権を獲得できればいいなと思っております。

**ハンドボール部**

年々クラブとしての質が向上している感じがします。特に女子は新人大会、春季大会とベスト4位に入賞。男子も4強入目前の敗退。共に成績だけではなく、1年生も多く入部してくれました。また、卒業生も参加、そして指導をしてきています。

クラブの盛り上がりはみんなで作っているようです。今後が楽しみです。

**新聞部**

私たち「四日市南高新聞」部は「少数精鋭」で頑張ってきました。休部の危機に瀕していましたが、昨年度は一部英字新聞も発行できました。

久しぶりに活動意欲旺盛な生徒が入部し、「壁新聞」を発行しました。作家志望の3年生の文芸作品も今年の「文化祭記念号」に発表する予定です。楽しみにしててください。

**イラスト部**

イラスト部は、今年新入部員が1人入り、北館近くのプレハブで楽しく活動しています。

活動は、昨年に新しくイラスト入りの小説を発行しました。続きはどうなるか分かりませんが…。その他の活動はいつも通りの活動です。

昨年、ついにイラスト部にホームページが出来ました。南高のページから行けるので、よかったですら見て下さい。

**平成十六年度 進路状況**

平成十六年度春の卒業生は318名で、進路別比率では国公立大23.8%、私立大48.1%、短期大学7.8%、各種・専修学校8.5%、就職0.9%、その他(浪人など)5.7%という内訳でした。数理学部コースでは卒業生数79名中、国公立大53.2%私立大29.1%でした。

平成十七年度入試では、国立大学の5教科7科目は拡大し、募集専有率は82%になりました。受験人口の減少と合わせ、全国の国公立大離れは総受験者数で昨年比約5%の減少になりました。国公立大学の志願倍率も50倍で、センター試験導入後過去最低となっています。

一方、私立大学一般入試全体では志願者数は前年比97.9%と2年連続の減少ではありますが、18歳人口の減少に比べると減少幅小さく、特に二期入試は前年比99.9%とほぼ前年並みでした。新過程入試を控え浪人を回避しようとする安全志向や、より高い志望大学の合格を目指して最後まで粘り強く受験した様子が伺われます。センター利用型入試では前年比99.2%となり初めて

前年度を下回りました。

地元圏で言えば、三重大学人文学部が5.7化で、工学部が理・工離れから易化傾向になりました。また、私立大では実学資格志向人気学部を除けば易化傾向で推移しました。

大学入試センター試験は、5教科7科目目理系が前年比11点上昇、6教科7科目文系型が前年比横ばいとなりました。化学I B、地理B、現代社会の平均点が大幅上昇し、国語I IIも易化しました。一方、日本史B、生物I Bは平均点が抑えられ、英語もやや難化したため理系と文系間に差が生じました。

本校のセンター試験出願者数は2998名で、英語受験ペースでの受験率は94%でした。国公立大の一般入試受験者は216名、合格者は85名で合格率は39.4%でした。また、センター利用私大では延べ467名が受験し、222名が合格、合格率は47.5%でした。私立4年制大学の延べ出願校数は1307校、受験者は2559名で、併願校数は約5校になります。

学部別の受験動向は国公立、私立大を問わず工学、理工学系統に受験者が集中しています。国公立大では全受験者数の51%を専有しています。教員養成系統、保育、管理栄養、医療・看護系統への人気は継続的に認められます。小学校教員不足もあり、今後さらに教員養成系統への志望者は増加すると思われる。地元の三重大、皇學館、鈴鹿医療科学大への志願者は安定化すると考えられます。

さて、今年度は新過程入試初年度にあたります。大学入試センター試験も時間割、英語リスニング試験導入など大きな改革が行われています。国立大学の独立法人化による影響、国公立大学入試日程の前期入試一本化への動きなど受験環境は激動しています。しかし、このような時代こそ、確固とした基礎学力の充実をしっかりととることが南高の使命であり、課題であると考えるところです。

今後も地域の期待を担う進学校として頑張りたいと思っておりますので、先輩諸氏のご指導ご鞭撻をお願い致します。

(進路指導部 三枝義久)

**ご注意ください!!**

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の

手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

**2004年入試 大学合格者数**

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格		
北見工業	1	神戸	1	滋賀県立	2	東京工科	3	愛知工業	41	日本福祉	16	大阪経済	1
弘前	1	和歌山	2	京都府立	1	東京電機	1	愛知産業	1	名城	80	大阪経済法科	2
山形	1	鳥取	4	兵庫県立	1	東京農業	1	愛知淑徳	24	東海学園	2	大阪芸術	2
茨城	1	島根	3	岡山県立	1	東京理科	1	愛知学泉	2	桜花学園	6	大阪工業	1
筑波	1	広島	1	県立広島	1	日本	8	金城学院	15	人間環境	5	大阪産業	2
群馬	1	山口	1	下関市立	1	法政	2	椋山女学園	16	皇學館	14	大阪体育	1
千葉	1	愛媛	1	公立大学計	21	明治	1	大同工業	5	鈴鹿医療科学	11	大阪電気通信	1
電気通信	1	国立大学計	89	獨協	1	立教	2	中京	48	四日市	3	関西	14
富山	1	公立はこだて未来	1	帝京平成	5	立正	1	中京女子	12	長浜バイオ	2	近畿	25
金沢	1	会津	1	青山学院	1	早稲田	1	中部	29	大谷	2	阪南	12
福井	3	高崎経済	1	学習院	1	金沢工業	12	同朋	2	京都産業	3	関西学院	3
信州	6	群馬県立女子	1	慶應義塾	1	北陸	1	豊田工業	2	京都学園	3	甲南	6
静岡	5	富山県立	1	工学院	2	福井工業	2	名古屋外国語	19	京都女子	2	甲南女子	1
愛知教育	2	石川県立	1	芝浦工業	1	岐阜女子	1	名古屋学院	7	京都橘	1	神戸学院	1
名古屋	4	福井県立	1	専修	3	静岡文化芸術	2	名古屋経済	1	同志社	7	奈良	2
名古屋工業	5	愛知県立	2	創価	8	星城	3	名古屋芸術	3	同志社女子	1	九州東海	1
岐阜	3	愛知県立芸術	1	拓殖	3	名古屋学芸	7	名古屋商科	6	佛教	1	私立大学計	657
三重	37	名古屋市立	2	帝京	2	愛知	17	名古屋女子	20	立命館	27		
滋賀	1	三重県立看護	2	東海	6	愛知学院	14	南山	24	龍谷	5		

# 先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

## 【アンケート項目】

- ①南高を転職されてから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先（お仕事）と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

## 富永 妙子 先生

①夢漠々の思いです。南高を去って28年余になります。うか。初めて群制度が敷かれた最初の卒業生を送ると同時に去りました。

②定年退職後、私学に奉職し、教職をすべて去って後は、社会教育、文学サークル育成に勉め、現在サークル活動（主に古典講座）を四日市と桑名に5講座、その他中日文化センター講師など引き受けております。南高の卒業生のなかでも参加している方々があります。

③自宅が川越町のため、南高を訪れる機会も殆ど無く、嘗つての箱ヒダのスカートに郷愁を感じながら、古典講座の普及、育成、更には自己自身の勉学のための読書を怠らず続けていこうと努めております。

友人に野山の可憐な花の美しさを教えられ、昔からの登山の趣味を花に転化させて里山歩きを楽しんでおります。

講座では万葉集と源氏物語、そして歎異抄も語っております。

④クラブ活動で既に故人となられた二五美佳子先生と御一緒に文芸部に係わったことが印象深く残っております。

創作劇で「采女」とか「大津皇子哀歌」など万葉集に材をとって文化祭で発表したことなど。また群制度になり、絶対四高に負けまいと生徒たちと共に懸命に頑張ったこともなつかしく思い出されます。

⑤私は白子高校、南高、桑名高校とそれぞれ10年余勤務しました。

講座では万葉集と源氏物語、そして歎異抄も語っております。



したが、卒業生との交流は南高が一番少ないように思います。他校の卒業生たちとは現在も親しくまじわり同窓会などもよく催してくれませんが、南高の方々とは私の努力、熱意が不足していたかと反省はしますが、交流が乏しいように思います。

やはり教師と生徒との付き合いが人間対人間としての付き合いに発展できることが、教育者としては大切だと思っております。私の反省材料です。助言、メッセージなどできません。

## 創立50周年記念式典

### 企画・アイデア募集

南高は平成20年に創立50周年を迎えます。

現在、創立50周年記念式典への準備を進めております。

つきましては、式典を盛り上げるための企画・アイデアを皆さまより募集いたします。振るってご応募ください。

応募先は、南高内同窓会事務局です。

## 平成17年度 四日市南高 同窓会総会報告

### 一 開催日時

平成17年8月14日(日)  
PM 3時30分～4時

### 二 場所／四日市都ホテル3F

### 三 参加者数／74人

### 四 議事

#### I 会長代理挨拶

副会長 山路 熟様

副会長 山路様より、3年後に控えた「創立50周年」に向けた取り組みを始める旨、報告と協力へお願い。

#### II 学校長挨拶

四日市南高等学校 学校長 中村秀文様

中村校長から母校の近況報告と同窓会総会への祝辞

#### III 会計報告

会計 小柳秀樹様

会計報告書の説明と、今年度の特徴的事項説明。

・今年度は会報発行が総会後のため、かわりに総会案内の葉書代が計上。

・今年度の会報発行の関係費用は来年度に報告。

その他、来年度以降、創立50周年事業の関係費用が発生して来る。

同窓会として学校祝賀を盛り上げるために協力してほしい。

同窓生の物心両面のご支援をお願いする。

#### IV 役員改選

役員より創立50周年事業に向けて、広い年代から募集の要望。

当日立候補者はなく、前役員会から新規候補を推薦し、総会にて承認。

(役員就任以外の前年理事は、全員留任)

#### V 新会長挨拶

創立50周年事業に向けて会員各位のご協力を頂き、南高の名に恥じない事業を行いたい。来年度総会へも引き続きご参加いただきたい。

総会終了後、同会場にて懇親会。午後6時散会。

## 教職員移動

【退職】 平成十六年度末(敬称略)

社会 梅村信子  
芸術 寺島千草

### 【転出先】

校長 大川智春 (県立盲学校)  
副校長 小原美奈子 (木本高校)  
養護 則武紀久子 (桑名西高校)  
英語 田中留美 (菟野高校)  
数学 三吉研一 (津西高校)  
実助 白井江里子 (石薬師高校)

### 【転入】

校長 中村秀文 (いなべ総合学園)  
国語 崎山精二 (神戸高校)  
社会 松平麻祐子 (松阪高校)  
数学 奥田進也 (新採)  
理科 佐野 稔 (神戸高校)  
英語 鈴木聡子 (四日市工業)  
英語 村野玉紀 (宇治山田商業)  
英語 吉原佑美 (四日市工業)  
英語 久野弥生 (四日市工業)

## 平成18年度 総会及び懇親会〈予告〉

開催日時：平成18年8月12日(土) 午後3時より  
開催場所：近鉄百貨店 四日市店 11F アートホール

会計報告など総会(30分程度)、立食立食パーティー形式の懇親会を予定しております。

## 同窓会役員

会長	粕谷邦男	(2期)
副会長	田中 正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	村野玉紀	(16期)
書記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会計	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
【学校側】		
顧問	中村秀文	学校長
会計	大森恵美子	事務次長
理事	鈴木庄司	教諭
	浦田 治	〃
	川井田真澄	〃
	城 利英	〃

### 連絡先

〒510-8562 四日市市日永字岡山4917  
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局  
TEL. 0593-45-3177・3178  
FAX. 0593-45-9549  
http://www.4nan.jp/~dousou/  
E-mail dousou@4nan.jp